

# I 調査結果の概要

## 1 農林業経営体

### ～農林業経営体数は5万1千経営体～

平成22年2月1日現在の農林業経営体数は51,411経営体となっている。このうち、農業経営体数は50,742経営体で前回（平成17年調査。以下に同じ）に比べ20.7%減少した。林業経営体数は2,129経営体で32.1%減少した。

表1 農林業経営体数

単位：経営体

区分	農林業経営体	農業経営体		林業経営体
		農業経営体	家族経営	
平.22	51 411	50 742	49 577	2 129
17	65 048	63 992	62 811	3 136
増減率 (%) (平22/17)	△ 21.0	△ 20.7	△ 21.1	△ 32.1

注) 農業経営と林業経営を併せて営んでいる経営体があるため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しない。

## 2 農業経営体

### (1) 組織形態別経営体数

#### ～法人化している経営体が増加～

農業経営体を組織形態別にみると、法人化している農業経営体が360経営体で、前回に比べ7.1%増加した。このうち、農事組合法人が75経営体で、前回に比べ78.6%増加した。そのほか、会社が215経営体で8.0%の増加、各種団体が60経営体で33.3%の減少などとなっている。

表2 組織形態別農業経営体数

単位：経営体

区分	計	法人化している					地方公共団体・財産区	法人化していない	個人経営体
		小計	農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人			
平.22	50 742	360	75	215	60	10	4	50 378	49 538
17	63 992	336	42	199	90	5	6	63 650	62 749
増減率 (%) (平22/17)	△ 20.7	7.1	78.6	8.0	△ 33.3	100.0	△ 33.3	△ 20.9	△ 21.1

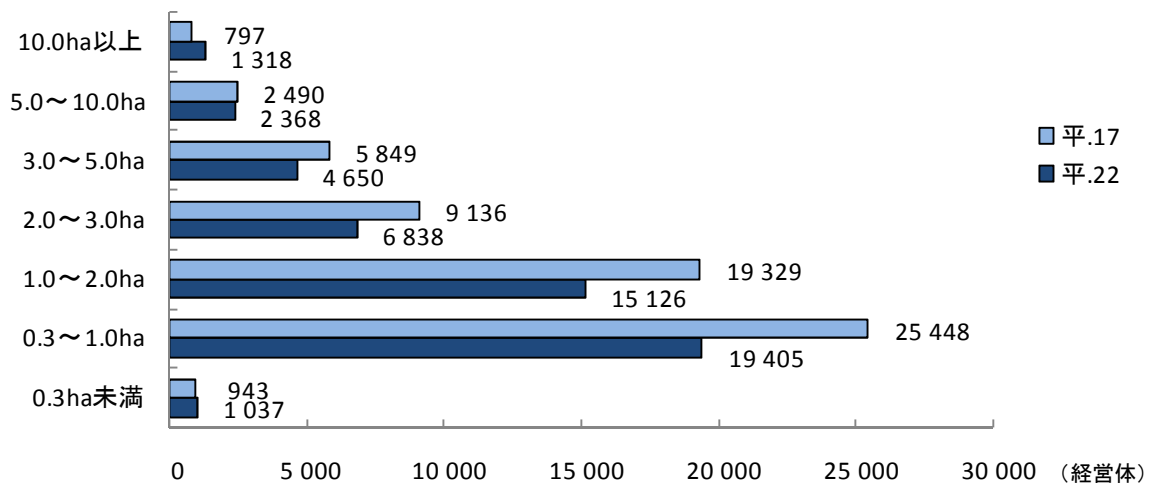
## (2) 経営耕地面積規模別経営体数

### ～大規模な農業経営体が増加～

農業経営体を経営耕地面積規模別にみると、1.0ha未満層が最も多く20,442経営体で、全体に占める割合は40.3%となった。次いで1.0ha～2.0ha層が15,126経営体で同29.8%となっており、2.0haまでの層で全体の7割を占めている。

前回と比較すると、10.0haまでの層はそれぞれ経営体数が減少したのに対し、10.0ha以上の層が増加しており、経営規模の拡大が進んだ。

図1 経営耕地面積規模別経営体数



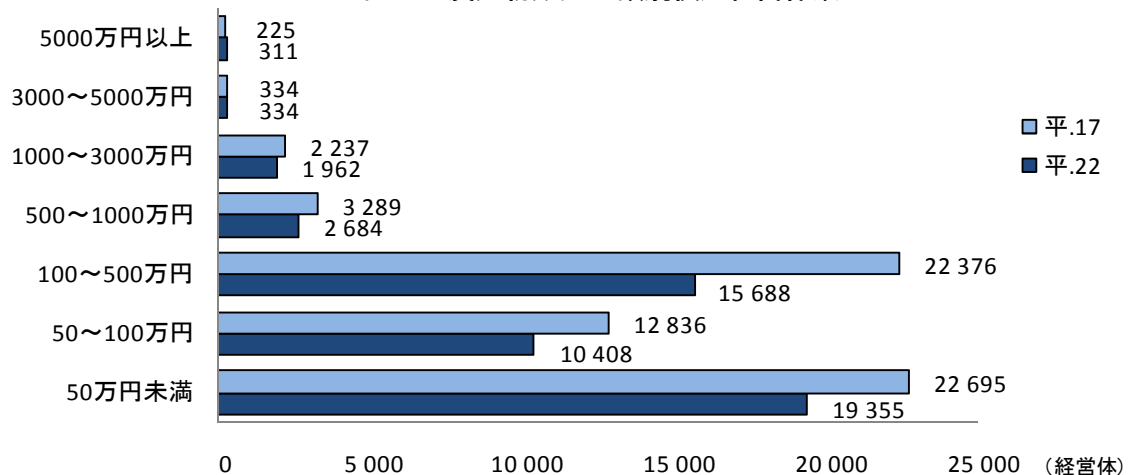
## (3) 農産物販売金額規模別経営体数

### ～5千万円以上の農業経営体が増加～

農業経営体を農産物販売金額規模別にみると、500万未満の層が45,451経営体で全体の89.6%を占めている。

前回と比較すると、5,000万円以上の層のみ経営体数が増加し、3,000万円未満の各層は減少した。

図2 農産物販売金額規模別経営体数



#### (4) 農業経営組織別経営体数

##### ～農業経営体の8割が単一経営～

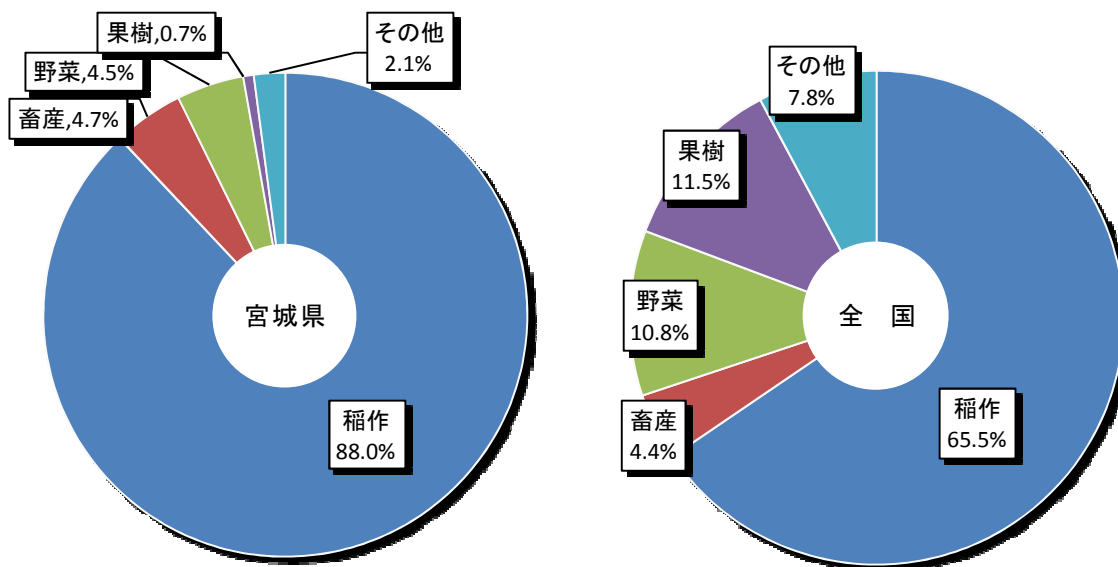
農業経営体を農業経営組織別にみると、単一経営が37,275経営体で全体の82.2%を占めている。また、複合経営は8,054経営体となった。

単一経営を主な部門別にみると、稲作経営が88.0%で最も多く、次いで畜産が4.7%、野菜が4.5%などとなっており、全国に比べ稲作の占める割合が高くなっている。

表3 農業経営組織別農業経営体数の推移

区 分	販売のあった 経営体数	単位：経営体	
		単一経営 (主位部門の販売 金額が80%以上)	複合経営 (主位部門の販売 金額が80%未満)
平. 22	45 329	37 275	8 054
17	57 178	47 597	9 581
増減率 (%) (平22/17)	△ 20.7	△ 21.7	△ 15.9
構成比 (%)			
平. 22	100.0	82.2	17.8
17	100.0	83.2	16.8

図3 単一経営の主位部門の構成比



## (5) 経営耕地面積の状況

### ～経営耕地面積は2.3%減少～

農業経営体の経営耕地面積は115,079haとなり、前回に比べて2.3%減少した。耕地種類別にみると、田が100,689ha、畑が13,647ha、樹園地が744haで、前回に比べそれぞれ2.2%、2.3%、8.5%減少した。

また、経営耕地面積のうち、借入耕地面積は37,387haとなり、前回から15,119ha(67.9%)の大幅増加となった。

表4 耕地種類別経営耕地面積

区分	計		田	畑	樹園地
	計	借入耕地面積			
平.22	115 079	37 387	100 689	13 647	744
17	117 734	22 268	102 952	13 968	813
増減率 (%) (平22/17)	△ 2.3	67.9	△ 2.2	△ 2.3	△ 8.5
構成比 (%)					
平.22	100.0	—	87.5	11.9	0.6
17	100.0	—	87.4	11.9	0.7

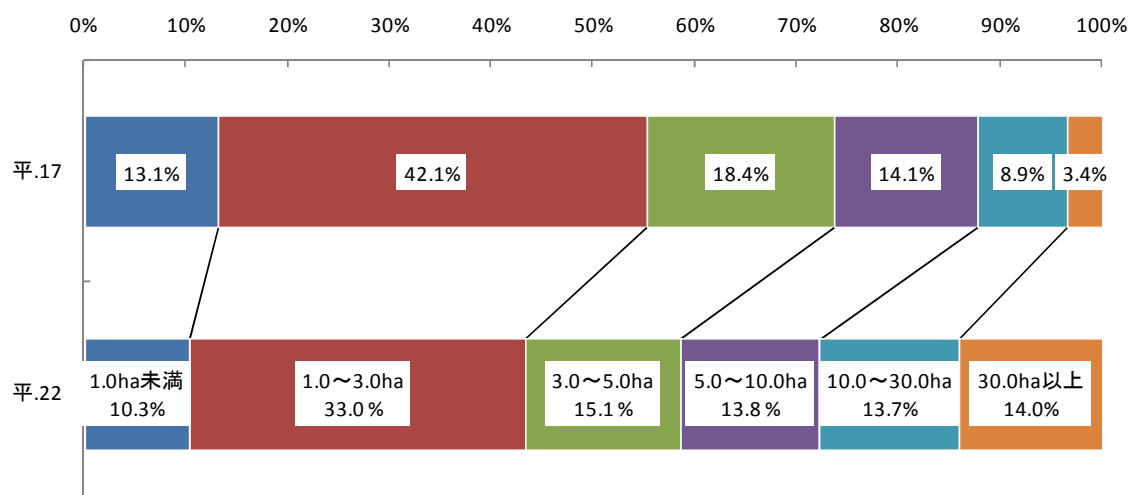
単位：ha

## (6) 経営耕地の集積割合

### ～経営耕地10ha以上の農業経営体への集積進展～

農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、1ha未満が10.3%、1～3haが33.0%、3～5haが15.1%、5～10haが13.8%、10～30haが13.7%、30ha以上が14.0%となり、前回に比べ、経営耕地面積10ha以上の農業経営体への耕地の集積が進んだ。

図4 経営耕地面積規模別の経営耕地面積集積割合

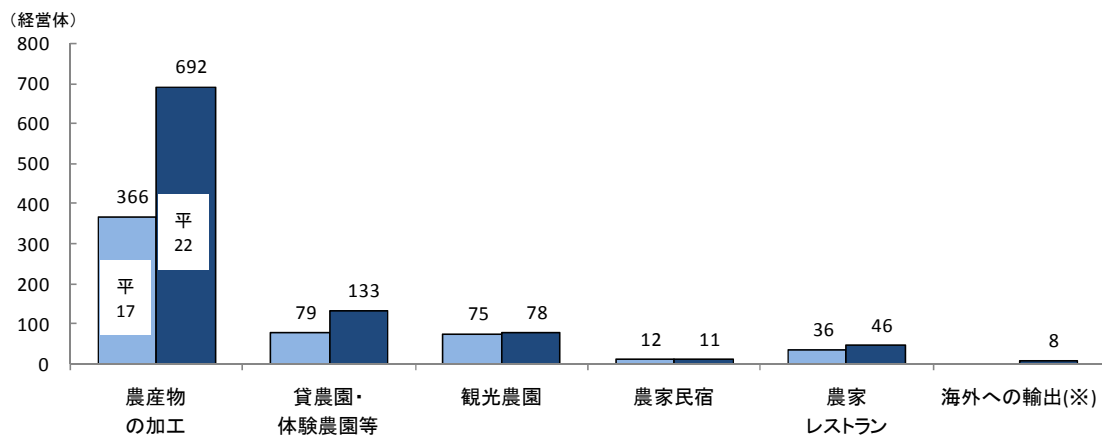


**(7) 農業生産関連事業を行っている経営体の事業種類別経営体数**  
**～農産物の加工を行う経営体が増加～**

農業経営体が取り組む農業生産関連事業の状況についてみると、農産物の加工に取り組む農業経営体は692経営体で、前回に比べて89.1%増加した。

また、貸農園・体験農園等は133経営体、観光農園は78経営体、農家レストランは46経営体となり、前回に比べそれぞれ68.4%、4.0%、27.8%増加した。

**図5 農業生産関連事業への取組状況**

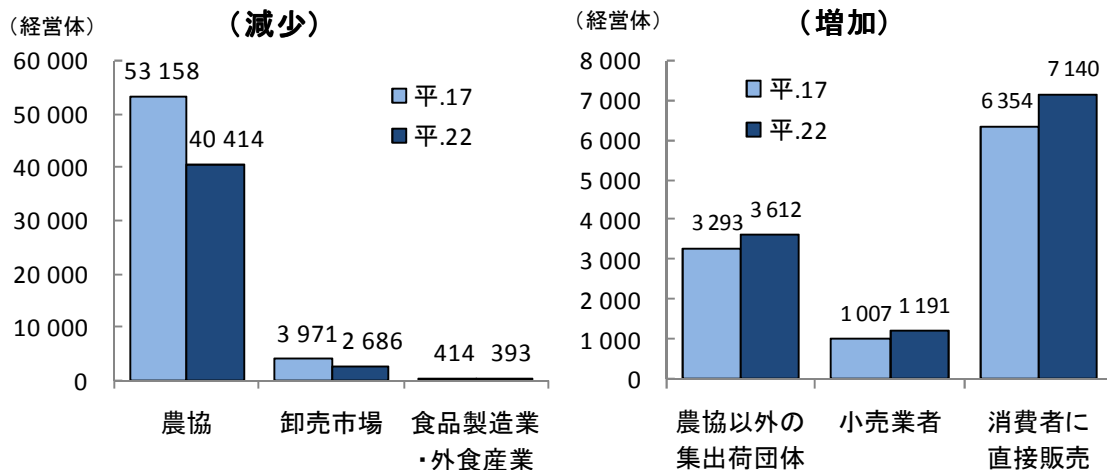


※「海外への輸出」は、前回センサスでは調査項目なし

**(8) 農産物の出荷先別経営体数**  
**～消費者に直接販売、小売業者への出荷が増加～**

農産物の出荷先別に農業経営体数をみると、農協が40,414経営体、卸売市場が2,686経営体となり、前回に比べてそれぞれ24.0%、32.4%減少したのに対し、消費者に直接販売が7,140経営体、小売業者が1,191経営体となり、それぞれ12.4%、18.3%増加した。

**図6 農業経営体の農産物の出荷先の状況**



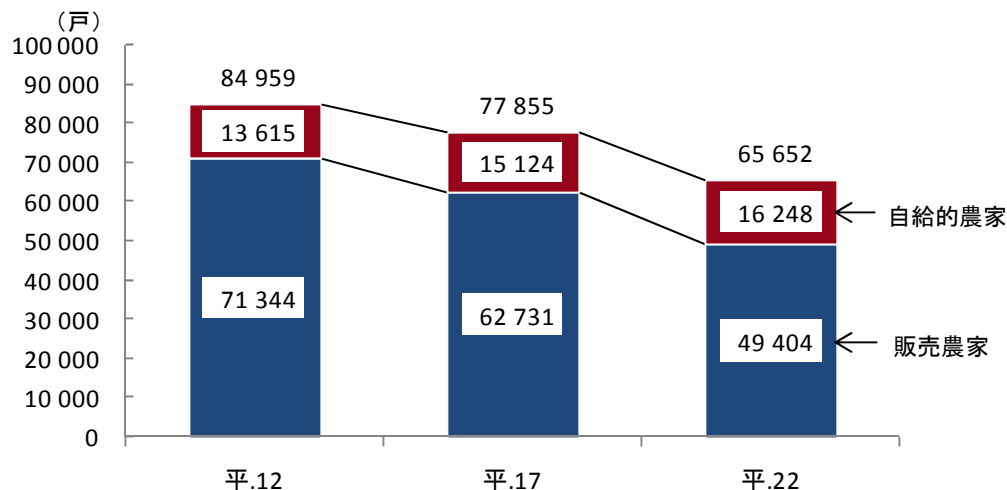
### 3 総農家数

#### ～総農家数は15.7%の減少～

総農家数は65,652戸で、前回に比べ15.7%減少した。

このうち、販売農家数は49,404経営体で前回に比べ21.2%減少し、自給的農家は16,248経営体で7.4%増加した。

図7 農家数の推移



### 4 販売農家

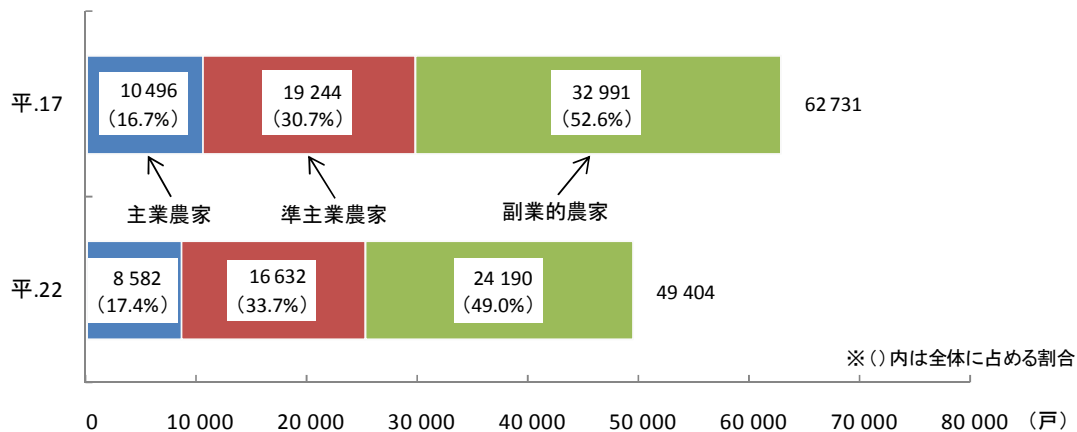
#### (1) 主副業別農家数

#### ～主業農家、準主業農家の占める割合が増加～

販売農家を主副業別にみると、主業農家は8,582戸、準主業農家は16,632戸で前回に比べそれぞれ18.2%、13.6%減少した。また、副業的農家は24,190戸で前回に比べ26.7%減少した。

全体に占める割合を前回と比較すると、副業的農家が3.6ポイント減少し、主業農家、準主業農家はそれぞれ0.7ポイント、3.0ポイント増加した。

図8 主副業別農家数の構成（販売農家）



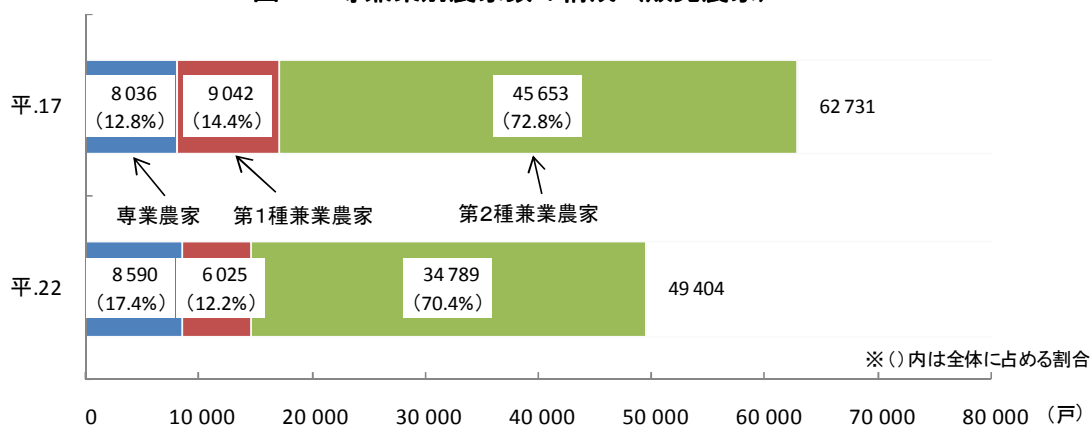
## (2) 専兼業別農家数

### ～専業農家が6.9%の増加～

販売農家を専兼業別にみると、専業農家は8,590戸で、前回に比べて6.9%増加した。第1種兼業農家は6,025戸で33.4%の減少、第2種兼業農家は34,789戸で23.8%の減少となった。

全体に占める割合を前回と比較すると、第1種・第2種兼業農家はそれぞれ2.2ポイント、2.4ポイント減少したが、専業農家は4.6ポイント増加した。

図9 専兼業別農家数の構成（販売農家）



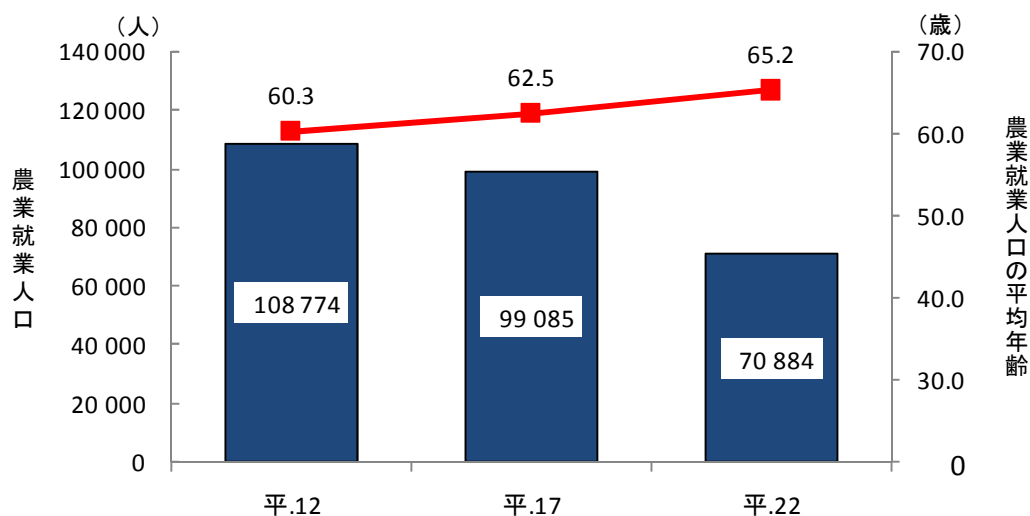
## (3) 農業就業人口

### ～農業就業人口は28.5%の減少～

販売農家の農業就業人口は70,884人で、前回に比べて28.5%減少した。

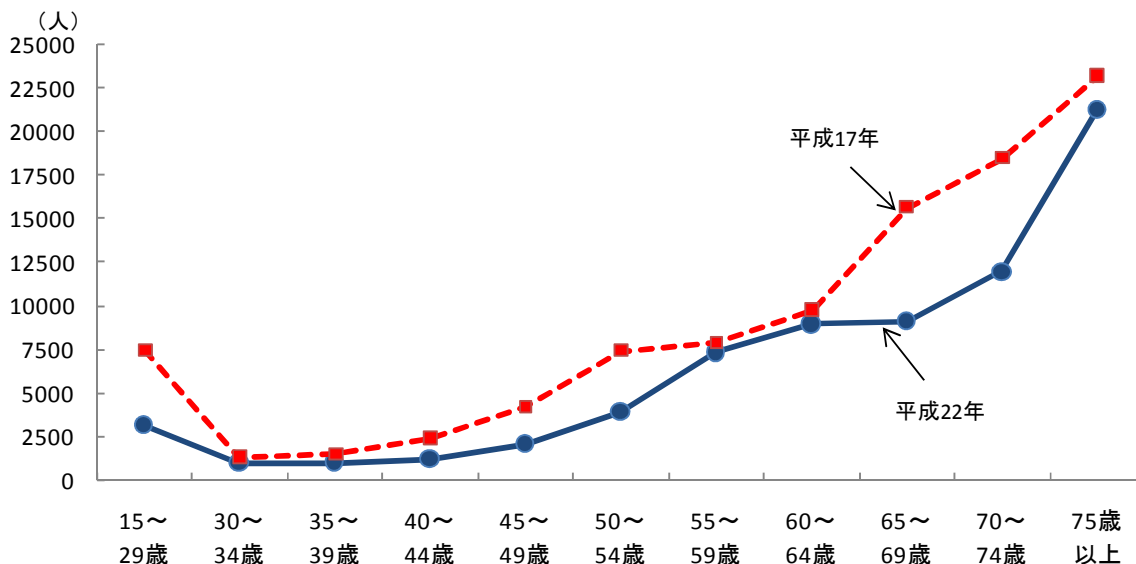
また、農業就業人口の平均年齢は65.2歳となり、前回から2.7ポイント増加した。

図10 農業就業人口及び平均年齢の推移（販売農家）



また、農業就業人口の年齢階層別の推移をみると、前回と比べて、全ての年齢層で減少しており、特に15～29歳、65～69歳及び70～74歳の各層で大きく減少している。

図11 年齢別農業就業人口の推移



## 5 林業経営体

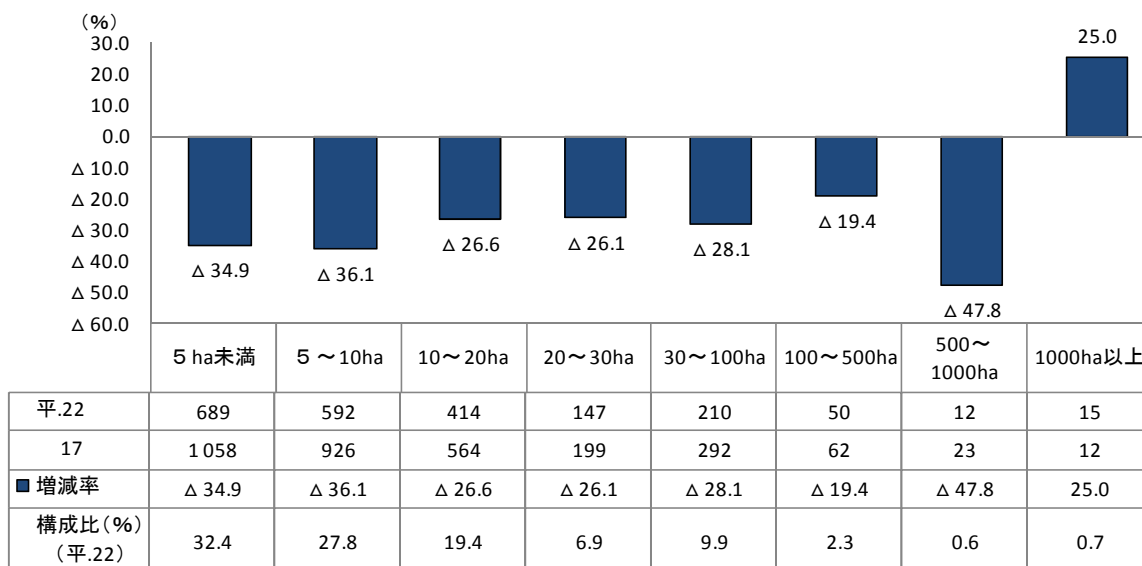
### 保有山林面積規模別経営体数

#### ～1,000ha以上の林業経営体が増加～

保有山林面積規模別に林業経営体（2,129経営体）をみると、1,000ha未満の階層は減少したが、1,000ha以上の階層でわずかに経営体数が増加した。

また、構成割合をみると、10ha未満が1,281経営体で、全体の60.2%を占めている。

図12 保有山林面積規模別の林業経営体数とその増減率





## 6 耕作放棄地面積

～耕作放棄地面積は 10.9%の増加～

耕作放棄地面積は 9,720ha で、前回に比べ 10.9%増加した。

表 5 耕作放棄地面積

単位：ha

区 分	耕作放棄地面積	
	宮城県	全 国
平.22	9 720	396 088
17	8 765	385 791
増減率 (%) (平22/17)	10.9	2.7